# デエビゴ®錠　適正使用のお願い

## CYP3A を阻害する薬剤との併用に関する自主安全性情報

2026 年 10 月更新

エーザイ株式会社

平素より、弊社製品「デエビゴ®錠（一般名：レンボレキサント）」の適正使用に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

デエビゴ錠（以下、本剤）では、CYP3A を中程度または強力に阻害する薬剤との併用時は、本剤の血漿中濃度が上昇し副作用が増強されるおそれがあるため、用量として 1 日 1 回 2.5 mg を服用することを電子添文及び適正使用ガイドに記載し、注意喚起しております。2026 年 10 月時点の情報に基づき CYP3A を中程度または強力に阻害する薬剤の一覧を更新いたしましたので、次ページにてご案内いたします。本一覧は、サターラ社が提供する薬物相互作用データベース The Drug Interaction Database（DIDB®）を基に、日本国内で承認・販売されている薬剤（外用剤のみの薬剤は除く）を中心にまとめております。

なお、本一覧は、CYP3A を中程度または強力に阻害している薬剤をすべて網羅したものではありません。また本一覧に掲載の CYP3A 阻害強度と各製品の電子添文における阻害強度が異なる場合があります。併用される場合には、各製品の電子添文の内容（阻害強度の情報を含む）をご確認いただきますようお願いいたします。

**参考**

電子添文　7. 用法及び用量に関連する注意　より抜粋

> 7.4 CYP3A を阻害する薬剤との併用により、レンボレキサントの血漿中濃度が上昇し、傾眠等の副作用が増強されるおそれがある。CYP3A を中程度又は強力に阻害する薬剤（フルコナゾール、エリスロマイシン、ベラパミル、イトラコナゾール、クラリスロマイシン等）との併用は、患者の状態を慎重に観察した上で、本剤投与の可否を判断すること。なお、併用する場合は 1 日 1 回 2.5mg とすること。[10.2、16.7.1、16.7.2 参照]

CYP3A 阻害剤一覧は次ページをご覧ください。→

■お問い合わせ先

[製造販売元]
エーザイ株式会社
hhc ホットライン　0120-419-497
〒112-8088　東京都文京区小石川 4-6-10
https://medical.eisai.jp

# CYP3A 阻害剤一覧

| DDI 分類 | 薬効分類詳細 | 一般的名称 | 主な販売名 |
|---|---|---|---|
| **強い阻害剤**<br><br>デエビゴ錠単独投与時と比較してイトラコナゾール併用時では、$C_{max}$ は 36%、$AUC_{(0\text{-}inf)}$ は 270%増加した。（電子添文 16.7.1） | 人工妊娠中絶用製剤 | **ミフェプリストン**、ミソプロストール[注 1)] | メフィーゴパック |
| | 早老症治療用剤 | ロナファルニブ | ゾキンヴィカプセル |
| | 抗悪性腫瘍剤 | セリチニブ | ジカディア錠 |
| | 抗悪性腫瘍剤 | ツカチニブ エタノール付加物 | ツカイザ錠 |
| | マクロライド系抗生物質製剤 | クラリスロマイシン | クラリシッド錠、クラリス錠 |
| | 深在性真菌症治療剤 | ボリコナゾール | ブイフェンド錠／ドライシロップ／静注用 |
| | 深在性真菌症治療剤 | ポサコナゾール | ノクサフィル錠／点滴静注 |
| | ヘリコバクター・ピロリ除菌治療剤 | ボノプラザンフマル酸塩、アモキシシリン水和物、**クラリスロマイシン**[注 1)] | ボノサップパック |
| | 抗ウイルス化学療法剤 | リトナビル | ノービア錠 |
| | 抗ウイルス化学療法剤 | ロピナビル、**リトナビル**[注 1)] | カレトラ配合錠／内用液 |
| | 抗ウイルス化学療法剤 | コビシスタットを含む配合剤 | ゲンボイヤ配合錠、プレジコビックス配合錠、シムツーザ配合錠 |
| | 抗ウイルス剤 | ニルマトレルビル、**リトナビル**[注 1)] | パキロビッドパック |
| | 抗 SARS-CoV-2 剤 | エンシトレルビル フマル酸 | ゾコーバ錠 |
| | 経口抗真菌剤 | イトラコナゾール | イトリゾールカプセル |
| **中程度の阻害剤**<br><br>デエビゴ錠単独投与時と比較してフルコナゾール併用時では、$C_{max}$ は 62%、$AUC_{(0\text{-}inf)}$ は 317%増加した。（電子添文 16.7.2） | 自律神経調整剤 | トフィソパム | グランダキシン錠 |
| | 抗てんかん剤 | スチリペントール | ディアコミットドライシロップ |
| | Ca++拮抗性不整脈治療剤 | ベラパミル塩酸塩 | ワソラン錠／静注 |
| | Ca 拮抗剤／持続性 Ca 拮抗剤 | ジルチアゼム塩酸塩 | ヘルベッサーR カプセル／錠／注射用 |
| | 潰瘍性大腸炎治療剤 | カロテグラストメチル | カログラ錠 |
| | 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤 | ホスネツピタント塩化物塩酸塩[注 2)] | アロカリス点滴静注 |
| | 選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤 | ホスアプレピタントメグルミン[注 2)]／アプレピタント | プロイメンド点滴静注用／アプレピタントカプセル |
| | JAK3/TEC ファミリーキナーゼ阻害剤 | リトレシチニブトシル酸塩 | リットフーロカプセル |
| | ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤 | リルザブルチニブ | ウェイリズ錠 |
| | 抗悪性腫瘍剤 | イマチニブメシル酸塩 | グリベック錠 |
| | 抗悪性腫瘍剤 | ニロチニブ塩酸塩水和物 | タシグナカプセル |
| | 抗悪性腫瘍剤 | クリゾチニブ | ザーコリカプセル |
| | 抗悪性腫瘍剤 | フェドラチニブ塩酸塩水和物 | インレビックカプセル |
| | 血漿カリクレイン阻害剤 | ベロトラルスタット塩酸塩 | オラデオカプセル |
| | マクロライド系抗生物質製剤 | エリスロマイシンエチルコハク酸エステル／エリスロマイシンステアリン酸塩／エリスロマイシンラクトビオン酸塩／エリスロマイシン | エリスロシン錠／ドライシロップ／点滴静注用 |
| | 抗ハンセン病剤 | クロファジミン | ランプレンカプセル |
| | ニューキノロン系抗菌剤 | シプロフロキサシン塩酸塩／シプロフロキサシン | シプロキサン錠／注 |
| | 抗ウイルス化学療法剤 | ダルナビル エタノール付加物 | プリジスタ錠 |
| | 抗サイトメガロウイルス化学療法剤 | レテルモビル | プレバイミス錠／点滴静注 |
| | 抗ウイルス化学療法剤 | レナカパビルナトリウム | シュンレンカ錠／皮下注 |
| | 深在性真菌症治療剤 | フルコナゾール | ジフルカンカプセル／ドライシロップ／静注液 |
| | 深在性真菌症治療剤 | ホスフルコナゾール[注 2)] | プロジフ静注液 |
| | 深在性真菌症治療剤 | イサブコナゾニウム硫酸塩[注 2)] | クレセンバカプセル／点滴静注用 |
| | 経口抗真菌剤 | ホスラブコナゾール L-リシンエタノール付加物[注 2)] | ネイリンカプセル |

グレープフルーツジュースは強い阻害作用を有するため、控えるようご指導ください。

注 1) パック製剤・配合剤における太字の一般的名称の薬剤は、本剤に対する阻害作用を有する成分を表しています。
注 2) プロドラッグについては、活性本体の CYP3A 阻害分類に基づいて掲載しているものがあります。プロドラッグ自体にも DDI 分類が設定されている場合、プロドラッグと活性本体で分類が異なることがあります。

DI-J-1059（2026 年 10 月作成）